

科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	2単位	学科・学年	各科A(専門科)コース	3年
使用教科書	New Discovery English Communication I		副教材等	ニューディスカバリー イングリッシュコミュニケーションⅠ ワークブック		
学習目標	1 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や話し手の考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりできる。 2 説明文や物語などを読んで、情報や書き手の考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりできる。 3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や自分の考えなどを相手に伝えたり、意見を交換したりできる。 4 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書くことができる。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまり(定期考査までを学習のひとつまとまり)ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 ①間違いを恐れず、積極的に言語活動を行おうとしている。 ②さまざまな工夫をすることでコミュニケーションを続けようとしている。				
	②表現の能力	日常的な話題について、情報や考えなどを伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。必要な語句や表現、文法を活用して、与えられた課題に答えたり、考えや気持ちを伝える。①情報や考えなどを正確に話したり書いたりすることができる。 ②学んだ言語材料を使って、文章を書くことができる。				
	③理解の能力	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを相手に伝えようとするのを理解する。文章の構成や展開の仕方を理解する。①本文を読んで内容や場面を正確に読み取り、理解することができる。 ②英文を聞いて、内容を聞き取り、理解することができる。				
	④知識・理解	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。①言語に対する知識：言語材料を正しく理解し、運用することができる。 ②文化に対する知識：課で扱ったトピックや問題などについて理解することができる。				
	評価方法\観点	①	②	③	④	
	ペーパーテスト	—	○	◎	◎	定期考査、課題テスト
	提出物	◎	○	○	○	ノート、ワークシート提出
	学習状況観察	◎	—	—	—	自己評価の実施
	学習活動への参加状況	◎	◎	○	○	ペア・ワークの取組、授業中の発言の内容など
	○ 英語は、毎日学習することが大切です。この計画を参考にして、進んで学習する習慣を身に付けましょう。					
履修上の注意	◇授業は必要に応じ、板書したり、プリント等を利用するので、ノートやファイルとじを用意して下さい。(ルーズリーフ不可) ◇予習→授業→復習の学習サイクルを早期に確立し、予習で分からない点を明らかにしてから、授業に臨みましょう。 ◇英語は、声を出して学習すること、学んだ表現を実際にできるだけ多く使って試みるのが上達の秘訣です。					



学期	月	時	課	題材・ねらい	主な言語材料 基本文(抜粋)	言語学習活動	○評価規準 [評価の方法]	
				□単元の目標・身につける機能表現				
1学期	4	5	10	6	The Arctic and the Antarctic <題材>南極と北極を比較し違いを述べる文。 (ねらい)北極と南極の違いについて知る。 <機能・表現> <input type="checkbox"/> 対照を表す <input type="checkbox"/> 理由・結果を表す <input type="checkbox"/> 情報を追加する	文法事項 関係代名詞(主格・目的格・what) on the other hand / generally speaking / be engaged in ~	・文章読解(自然) 北極と南極を対比して説明した英文を読み、筆者が伝えたい細かい情報なども読み取る。 ・英作文 与えられた情報を利用して日本または中国を紹介する英文を書いて発表する。	・客観的な説明文の要旨を正しく理解する。 ・リストに基づいてまとまりのある説明文を書く。
	5	6	10	7	Pride of Japan <題材>日本の町工場の実情を伝えるノンフィクション物語 (ねらい)日本の技術力を支える町工場の実情を読み取り問題点を考える。 <機能・表現> <input type="checkbox"/> 事実を強調する <input type="checkbox"/> 反語的な質問 <input type="checkbox"/> 場所を限定する 関係副詞whereの用法	文法事項 現在完了/ 現在完了進行形/ 現在完了の受け身/ 過去完了 quite a few/ pass on to / tend to do	・文章読解(科学技術) ・対話(長所と短所) 就職先としての大きな会社と小さな会社のメリットとデメリットを出し合い、英語で話し合う。 科学技術に関する説明文を読んで、内容を理解する。	・説明文の要旨を正しく理解する。 ・自分の将来の希望について発表する。 ・自分の意見を述べるまとまった英文を書く。 ・メモを見ずに発表する。
2学期	9	10	12	8	From Boston with Love <題材>フルマラソンにおける性差別を契機に、正義と責任や男女の平等について学ぶ。 <input type="checkbox"/> It is +形容詞+that節 <input type="checkbox"/> I wishを用いた仮定法過去 <input type="checkbox"/> S+V+O+C(分詞)	文法事項 S+V+O(=if [whether]節) to不定詞の否定 仮定法過去 by oneself / for the sake of ~	・対話(社会) フルマラソンにおける性差別を打ち破る契機となった女性ボビ・ギブについて知る。 男性と女性の職業の区別がなくなっているものについて例を挙げ、グループで話し合う。	・積極的に英語で話そうとしている。 [活動の観察] ・話した内容を英語でメモする。 ・原稿を見ずに発表する。
	10	11	12	9	A Priceless Heritage in Japan <題材> 日本の榎田に関する題材を読み、榎田が形成された歴史的経緯や現状について学ぶ。□情報を追加する <input type="checkbox"/> 理由を限定する <input type="checkbox"/> 対比する	文法事項 助動詞+受け身、関係副詞 when, where 関係副詞(when, where) not only~but also ... / in truth	・文章読解(伝統文化) 榎田が自然環境や生態系に果たしているさまざまな役割を理解する。 ・対話(自然) 守りたい自然や伝統文化について例を挙げる。	・説明文の要旨を正しく理解する。 [(後日)筆記テスト] ・次代を担う自覚を持ち環境問題に関心を示している。[活動の観察]
3学期	1	2	10	10	Warm-Hearted King of Pop <題材>有名人の活躍の記録 (ねらい)マイケル・ジャクソンが歌に込めた子どもたちへの思いやチャリティー活動について読み、そのメッセージの持つ意味を考える <機能・表現> <input type="checkbox"/> 強調する <input type="checkbox"/> 確信する <input type="checkbox"/> 婉曲表現	文法事項 S+V+it+C+to不定詞 分詞構文(現在分詞, 過去分詞) come to do / remind ~of / because of ~ / take action / enter ~into	・対話(ボランティア活動) 身の回りでボランティア活動をしている人や団体について、情報を集め英語で話し合う。 ・英作文 話し合ったことを基に自分でできるボランティア活動について英語で書き、発表する。	・有名人の活躍や栄光その裏にある努力や苦勞について読み取る ・身の回りから具体例を見つけて英語で表現する。 [活動の観察]